

認証牧場受け入れ人数は71万人

本会がまとめた平成20年度の酪農教育ファーム認証牧場の受け入れ実態調査結果によると、調査に回答した257の認証牧場の受け入れ団体数は2万8705団体（19年度3万6147団体）、受け入れ人数は70万5568人（69万707人）となった

● 20年度から酪農実体験者を調査 酪農教育ファーム活動はかなり定着

本会のまとめによると、受け入れ1団体当たり人数は25人（19年度は19人）、1牧場当たりの受け入れ団体数は112団体（180団体）、1牧場当たりの受け入れ人数は2745人（3436人）となった。今回の調査から受け入れ人数などを実際に酪農体験した人数に変更したため、前年との比較はできない。しかし、前田浩史本会事務局長は、「認証牧場が19年度の201牧場から20年度は257牧場に増加したこともあるが、今回の調査から酪農体験した人数に変更しても来場者数が増えており、酪農教育ファームの活動がかなり定着してきたと思っている」と述べ、酪農教育ファーム活動が定着していると強調した。

受け入れ状況の内訳をみると、団体種類別では小・中学校など教育機関が団体数で6594団体（19年度は5541団体）、人数が32万416人（27万3767人）といずれも前年を上回り、学校などで酪農教育ファーム活動に対するニーズが高まっていることが明らかとなった。月別では、春から秋にかけて受け入れ団体・人数ともに多く、冬は少ないが、酪農は年間を通じて搾乳や哺乳など同じ体験ができることから、本会では、冬季の受け入れニーズを掘り下げることでさらに増加が見込まれるとみている。

● 酪農経営悪化で受け入れ辞退の牧場増加

一方、20年度に酪農体験を受け入れなかった認証牧場は69牧場あり、前年の7牧場に比べて大幅に増加したことが分かった。本会ではその理由について、①20年度の新規認証牧場27牧場のうち、14牧場は21年度以降から受け入れを開始する予定だった、②飼料価格の

高騰などで酪農経営が悪化し、酪農教育ファーム活動を酪農経営の一環として位置づけていない牧場が、受け入れに消極的だった—などと分析している。

また、今回は初めて、酪農出前授業の実施状況について調査した結果、酪農出前授業の実施牧場は45牧場だった。実施方法は「1回のみ」が603件、「継続型」が41件と1回のみの実施が圧倒的に多く、1牧場当たりの担当人数は2745人となった。

	平成20年度	平成19年度
回答牧場数	257牧場	201牧場
回答率（認証牧場数）	100% （257牧場）	80.4% （250牧場）
受け入れ団体数	28,507団体	36,147団体
受け入れ人数	705,568人	690,707人
1団体当たり受け入れ人数	25人	19人
牧場当たり平均受け入れ団体数	112団体	180団体
牧場当たり平均受け入れ人数	2,745人	3,436人

